

もいのにぎわい通信

2022年4月23日 定例活動報告

日時：2022年4月23日（土）9：00～12：00

場所：小山町 観音地

天候：晴時々曇 気温 20～26℃ 湿度 70% 風向 東北東 風速 2.3/s

参加者：20人：子ども2人、大人18人（内土地改良区0人）

■活動

9：30 集合

作業開始

クズの蔓切、物置付近のウッドチップを平らにならす作業

10：30 休憩

森の観察会

12：00 解散

■活動報告

春らしい暖かな日差しの中4月の活動が行われました。4月の活動に参加できた会員スタッフが3名だったため連携をとりながら送迎、受付、進行などの準備をすすめ、いつもより始まりに時間がかかりましたが、嬉しいことにスタッフ以外大人15名子ども2名と、大人数の参加がありました。

前半は地面から芽を出し始めているクズを抜いたり、周辺の草刈りができた木に絡んでいるクズの蔓をとる作業、イノシシが荒らした物置付近のウッドチップの道を平らにならす作業を行いました。だんだん日差しが強くなり気温もあがってきたころ休憩となりました。

はじめて参加の方が3名いたこともあり参加者全員自己紹介を行いました。

その場で遠いところからの参加者同士で近くに住んでいることが分かってローカル話に花が咲いていました。最後の締めくくりは理事長の金井さん…森の保全活動のボランティアは植樹をしたいと参加される方が多いのですが、森の保全活動でとても時間や労力がかかるのは樹木の成長を守ること…という話が印象的でした。休憩中には小学生の女の子とお母さんが作業でとったクズのつるを使ってリース作りをしていました。飾りは、ホトケノザ、スイバなどの森に咲いている野の花たち…とてもかわいく仕上がっていました。

後半は森の春を一番感じられる4月末の活動とのことで普段できない自然を楽しむ時間として何度も参加されていた方もしたことがない森一周観察会となりました。大人数でゆったりと。栗林を抜け被爆アオギリの幹が青々とした並木道を通って笹が生い茂った細い道を笹をかき分けながら高台へとぞろぞろ連なって登って行きました。

草刈りが済んでいた高台にはワラビがよきによきはえていて、持ってきていたバケツに一人10～20本ぐらいは収穫できたように思います。ワラビはシダ類でどンドン生える場所が広がっていくのではと思っていたのですが、意外にも毎年同じ場所にしか生えていない様子。少し進んだ草むらには小型の赤茶色のへびがいて毒をもつマムシやアカカガシのような模様がなくて心配ないようでしたが、皆に近くを通らないように声掛けをしました。あとから調べてみると毒のないへびのジムグリに似ていました。

さらに進んだ日陰の茂みの中にウラシマソウという山野草を発見。特徴は花のような部分からのびているひものようなものがあること。この長い紐が浦島太郎が釣竿を持っている姿に似ていることからその名前がついたそうです。その紐のながいこと！50cm以上はあったと思います。

ゴルフ場横の森の入り口付近を通過した際は台風の倒木で壊れていた看板が新しいものに替わっていたので金井理事長から紹介がありました。入口を通過して駐車場へと続く道は山の尾根を歩いているようで右に谷津田、左にいつもの活動場所の低い場所にある森がながめられる場所です。約10年前に植樹したどんぐりから育てた林は春の新しい葉特有の銀色のような白っぽい輝きがありとてもきれいでした。関東タンポポと西洋タンポポ両方がみられ、トンボがたくさん飛んでいました。羽の模様からアキアカネかなツアカネと思われます。調べてみると体の模様などで判断できるようですが判断は難しいようです。

ビニールハウス前に戻ってきたときには予定の活動時間を過ぎていて活動は終了することに・・・普段見れない森の魅力が参加した方に伝わっていたら嬉しいです。

(記録：和田みさ子)

.....

お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、5月28日(土)(雨天の場合4月29日(日))グリーンウェイブ植樹祭を行う予定です。



集合写真



クズの蔓切作業





休憩時の自己紹介





ウラシマソウ



ウラシマソウのひもの長さ（軍手まで）